

共育（きょういく）を目指して

本校は、昭和43年、下呂市に整肢学園として創設されました。その後移転、改名を経て、45年が経過し、5年後には50周年の節目を迎えます。

「肢体不自由」のある児童生徒への指導を行う「コア・スクール」として位置づけられ、一人一人の肢体不自由の状態や学びに応じて、4領域（「運動・動作」「教材・教具」「摂食」「情報」）を設けて研修をしています。また、外部からの専門家（作業療法士や理学療法士等）からも指導・助言を受け、教育活動を行っています。

本校の教育目標は「明るく、元気に、生き生きと」です。この目標は、個々に応じた「生きる力」を育み、自立と社会参加を目指すものです。そこで、今年度は、「あいさつをする」「毎日元気に登校する」「五感を使って楽しく活動する」ことを大切に、児童生徒の笑顔あふれる学校となるよう、教職員が一丸となり努力して参ります。

また、「共育」の実現も目指します。この「共育」とは、「親・教師・学校など、教育権をもつ主体だけでなく多様な立場や領域の人・組織が**連携をして教育を担うこと**、あるいは教育・養育・指導を行う側と受ける側が**共に学び成長すること**」と言われます。学校がその「共育の場」となるためには、家庭との連携を深め、共に歩みを進めることが「鍵」となります。

引き続き、当校へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

岐阜希望が丘特別支援学校
校長 吉田 孝弘